



とよの 議会 だより

第158号

2026年
令和8年7月25日発行



議会報告会の様子



SOUNDカード™を使って
活発な意見交換

開催しました



交通・通学

- 若い人に豊能町に来てもらうためバス利用者を増やす
- デマンドタクシーの乗り方がよくわからない
- 「おでかけくん」は町内のみ運行。町外へ行けるような乗り物があれば

観光

- 情報発信の在り方。町職員の他の市町村との相互交流が少ないのでは
- 能勢町は情報発信がうまい。地元出身の職員が多いからではないか
- 豊能町は石仏があるがアピールが弱い。郷土資料館も含めPRが下手
- 「高山真菜まつり」などに行きたいが交通の便が悪い。もっと気軽に行けたらよい

廃食用油回収

- 廃油回収はよい取組だが、もっと回収しやすい方法はないか
- 役場と支所だけでなく地区ごとなどに回収BOXがあればよい
- 亀岡市は置いておくと回収してくれる
- * 亀岡方式参考 【油を入れた回収容器（貸し出し無料ボトル）を回収ボックス（スーパー、役場等）に入れるだけ】
- 生協の個人配達の場合、廃油を引き取ってくれるのでそちらで出している

情報

- 豊能町はPRが足りない。豊能町の良い所をアピールする努力を
- 世代間やサークル間の情報共有発信
- 手元で町政の情報を見れるように（LINEなど）
- 移住者の方になぜここを選んだのかを聞きたい

に対して提言していく予定です

報告内容

令和8年度予算の主な事業

- ①学校施設等跡地利活用検討事業
 - ②町政施行50周年記念事業
 - ③住宅流通・多様化促進事業
 - ④地域の魅力創出事業
 - ⑤地域公共交通維持確保事業
 - ⑥コミュニティ・カーシェアリング導入支援事業
 - ⑦廃食油等回収事業（環境基金条例制定）
 - ⑧高校生通学費補助事業
 - ⑨義務教育学校猛暑対策事業
 - ⑩義務教育学校給食費支援事業
 - ⑪普通財産活用事業
（ときわ台地区浄水場跡駐車場整備事業）
 - ⑫光風台駅前1号線整備事業
（エスカレーター横の階段改修工事実施設計業務）
- * 上記内容は、豊能町議会HP(公式YouTubeチャンネル)で動画配信しています

西地域

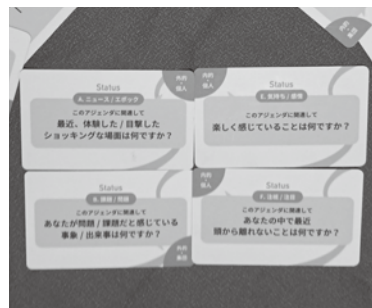
議員 12 名 / 参加者 21 名
午前 9:30 ~ 11:30
西公民館大会議室

東地域

議員 12 名 / 参加者 5 名
午後 1:30 ~ 3:10
中央公民館大会議室

SOUNDカード™とは？

話し合いが
機能し協働が
生まれる
ための
「言える化」
ツールです。



複雑で難しい課題に向き合うほど、チームで「話し合う」必要性が高まると同時に、その難しさも高まっていきます。
SOUNDカード™は、どんな難しい状況であっても、チームメンバーが「本当に話すべきこと」を言葉にでき、聴き合い、前に進んでいく状態を生み出します。

（SOUNDカード公式WEBサイトより抜粋）



議会報告会を

令和8年5月24日（日）

**【報告内容】 令和8年度予算の主な事業
【ワークショップ】**

テーマ「新しいまちづくりにむけて」
SOUND カード™ を活用

ワークショップでの主なご意見

東西

- 東西に分かれていることを町の特徴として発展させられないか
- 東西交流の交通機関が必要
- 西地区と東地区とも町の魅力がまだ埋まっている
- 東地区に道の駅などがあれば西から東へ来る人が増えるのではないか

公共施設

- 町の将来像、公共施設の再編が見えない
- 公共施設再編は議会が中心になって進めるべき
- 公民館の利用状況など、一般住民へ情報提供を
- 旧小学校跡地を、各世代共通の居場所や地域情報発信のセンターに

町（場所）

- 子育てに害になるものが少なく自然が豊かであることをアピール
- 町に立ち止まってくれる場所を
- 桜など老木が多く倒れる危険がある

空き家

- 空き家管理の方法。高齢者世帯は庭木の手入れも難しい。町や自治会で対応できないか
- 鳥取県鹿野町は空き家のレンタル活動に取り組んでいる。空き家活用にむけた勉強会等の取り組みを
- 独居高齢者世帯が増えている。空き家予備軍として、空き家になる前に対策を
- 子どもと一緒に住む対策を。安くても売れない理由はリフォーム費か
- 人が住んでいない家屋に対して固定資産税を上げてはどうか

住民

- 自然も豊かで住んでいる人も多彩。ネットワークを作って、豊かに暮らせる町に
- みんなが安心して住みやすい町にして欲しい。なんでも語り合える町に
- 幸福度ナンバーワンのため、若い人や観光客の誘致を
- 自治会の会員が減少していて、隣近所との関係が希薄になってきている
- 新興住宅地の自治会については連合制（丁目単位）にしないと、密な活動にはつながらない
- 広報誌で得た勉強会などに出て皆さんとの意見交換が刺激になりプラス思考になっている
- 気軽にウォーキングできるグループがあり、よいことをやってる
- 「花さんぽ」や「とよのわ」に参加して、若い方がたくさんおられるのにびっくりした。旧村の人の参加が少ない。さらなるアップデートを期待
- 子ども食堂に対して、農家は材料などの提供ができるかも

人材

- 課題は、専門の職員を採用すること
- 町のブランディング、よいところを出していこう
- 教育力ナンバー1のまちに

人口減少

- 能勢町と比べ、豊能町は知られていない
- 人口増加施策の効果は出てきていると思う
- 以前のように活気ある町に
- 人口増がポイント。若い人をふやす努力を

福祉

- 見守り（誰でも安心して住める）に対してもっとPRしてほしい

今後の進め方

ワークショップでいただいたご意見は、議員間で検討精査し、行政

6月定例会議報告

令和8年6月1日～11日

報告

3号報告	専決処分の報告 (豊能町税条例改正)	地方税法の改正に伴い、所要の改正を行うものです
4号報告	令和7年度一般会計予算 継続費繰越計算書報告	小中一貫校施設整備事業（東地区）は複数年にわたる費用を計上しており、令和7年度に執行した費用を除いた額を繰り越すものです
5号報告	令和7年度一般会計予算 繰越明許費繰越計算書報告	令和7年度内に完了できなかった22事業のうち、令和7年度中に執行した費用を除いた額を令和8年度に繰り越すものです
6号報告	令和7年度一般会計予算 事故繰越し繰越計算書報告	遅延が生じ、事業が完了できないため、令和8年度に繰り越すものです
7号報告	令和7年度介護保険 特別会計事業勘定予算 繰越明許費繰越計算書報告	事業が年度内に完了しないため、令和8年度に繰り越すものです

条例改正

41号議案	特別職の職員の給与に関する条例改正	財政健全化の一環として、令和8年6月に支給する町長の期末手当を減額するものです	全員賛成 可決
42号議案	消防団員等公務災害補償条例改正	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、葬祭補償の額の改定を行うものです	全員賛成 可決
43号議案	税条例改正	地方税法の改正に伴い、所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
44号議案	スクールバス運行に関する条例改正	バスを使用できる者に吉川地区（保の谷に限る）を追加するものです 	全員賛成 可決
45号議案	総合体育施設条例改正	「シートス」の利用に係る料金について見直しを行うものです	全員賛成 可決
54号議案	町立学校等屋内運動場及び施設設備の使用に関する条例改正	義務教育学校屋内運動場（体育館）に設置している空調設備の使用に関し、空調維持費を徴収するため、所要の改正を行うものです	全員賛成 可決

規約変更

46号議案	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関して、関係市町村と協議するため、提案するものです	全員賛成 可決
47号議案	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	大阪広域水道企業団の共同処理する事務に泉大津市、箕面市、門真市に係る水道事業の経営に関する事務を追加すること及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更をするものです 	全員賛成 可決

指定管理			
48号議案	指定管理者の指定期間の変更について	高山コミュニティセンターについて、現指定管理者より施設利用者の利便性向上や地域活性化に資する新たな手法の提案があり、当該提案に基づく管理体制へ移行するため、現在の指定期間を短縮するものです	全員賛成 可決
49号議案	指定管理者の指定について	高山コミュニティセンターの指定管理者を指定するものです <指定期間> 令和8年7月1日から 令和29年3月31日 <指定管理者> ヤンマーシンビオシス株式会社 大阪市北区鶴野町1番9号	全員賛成 可決
補正予算			
50号議案	令和8年度 一般会計補正予算 (第1回)	主な事業は旧双葉保育所解体工事・中央公民館の解体に係る設計費・余野地区商業施設開設負担金等です	全員賛成 可決
51号議案	令和8年度 国民健康保険特別会計 事業勘定補正予算(第1回)	滞納整理に係る預貯金等照会システム導入に係る経費等です	全員賛成 可決
52号議案	令和8年度 後期高齢者医療特別会計 補正予算(第1回)		全員賛成 可決
53号議案	令和8年度 介護保険特別会計 事業勘定補正予算(第1回)		全員賛成 可決

**農業委員会の任命につき同意を求めることについて
任命同意しました**

27号議案	ほうじゅあん ひろし 法寿庵 寛さん(余野)
28号議案	なんでん よしひこ 南殿 義彦さん(川尻)
29号議案	にしうら ひろし 西浦 寛さん(木代)
30号議案	いぬい としあき 乾 利昭さん(切畑)
31号議案	おおにし しずよし 大西 静義さん(野間口)
32号議案	かわかみ かずひろ 川上 和博さん(高山)
33号議案	いまい しげる 今井 茂さん(牧)
34号議案	こさか よしんど 小坂 善人さん(寺田)
35号議案	いぬい ひろし 乾 弘志さん(吉川)
36号議案	いかわ よしこ 井川 佳子さん(希望ヶ丘)
37号議案	かみにし たけし 上西 武司さん(木代)
38号議案	こたに しろう 小谷 史朗さん(切畑)
39号議案	ふるたに きよこ 古谷紀代子さん(切畑)
40号議案	わだ きょう 和田 京さん(希望ヶ丘)

26号議案

固定資産評価審査
委員会委員

な 中田 永三さん
か 田 永三さん
た えいぞう
ん (寺田)

を
選
任
同
意
し
ま
し
た。

人
事

農業委員会とは
 農地法に基づく権利移動の許可、農地転用案件への意見具申など、農地法等の法令に基づく事務、農地等の利用の最適化の推進（担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）に関する事務を執行する行政委員会として市町村に設置されています。



総務建設 常任委員会

6月4日開会
委員6名全員出席



消防団員等公務災害
補償条例改正

問 葬儀費用が約26年間据え置かれてきたが、物価や葬儀費用が大きく変化

する中でなぜ見直してこなかったのか。

また、町独自のさらなる上乗せ補償や支援策を主体的に検討していく考えはないか。

答 厚生労働省で消費者物価指数をもとに毎年議論されているが、長い間デフレが続いたことが影響していると思われます。

国が全国的な基準を示している中で、その基準に合致させることに問題がないという判断のもと

現在に至っています。

また、町独自の上乗せ補償や支援策についても、本町が特殊な事情に置かれていることが、現在確認できておらず、国が示す基準を基本として考えていきます。

(全員賛成 可決)

税条例改正

問 固定資産税の免税点改正による影響は。

答 今回の改正により令和8年度では、家屋で納税義務者46人、税額15万6200円、償却資産においては、納税義務者10人、税額22万3900円の減収になる見込みです。

(全員賛成 可決)

指定管理者の指定期間の変更について

問 高山コミュニティセンターは、これまで校舎棟や体育館が使用できなかったが、どのようにクリアするのか。

また、旧幼稚園棟については協定の中に入っているのか。

答 今回、体育館については工場への用途変更に向け協議を進めています。校舎棟については、排煙設備や浄化槽の改修等で建築基準法をクリアするよう進めています。

なお、旧幼稚園棟については改修をせず、そのまま使用していきます。

(全員賛成 可決)

一般会計補正予算
(第1回関係部分)

問 政策推進事業の業務委託料の内訳は。

答 業務委託料997万1000円の内訳は、旧双葉保育所の解体工事の監理業務委託料が209万5000円、中央公民館の解体工事の実施設計業務委託料が787万6000円です。

(全員賛成 可決)

福祉教育 常任委員会

6月5日開会
委員6名全員出席



スクールバス運行に
関する条例改正

問 スクールバスの運行区間に、吉川の保の谷地区を追加すること

だが、対象児童がいた場合の乗降場所はどこになるのか。

答 今後、転入等で対象者が出てきた場合、事前に保護者に聞き取りを行い決めていくこととなります。一般的には、最寄りのバス停留所になると思います。

(全員賛成 可決)

総合体育施設条例改正

問 シートスの料金について、3850円を4000円にするなど、きりのいい料金にはしないのか。また、キャッシュレス対応はしているのか。

答 今回1円単位の端数については、平成27年度の料金改定と同様の対応として、四捨五入した料金としています。

シートスの券売機のみキャッシュレス対応をしています。

問 料金を引き上げると利用者離れが懸念されるが、過去の利用者の推移や今後の見通しは。

答 平成27年度の料金改定時では、平成26年の利用者数が20万3042人に対し、平成27年は20万4227人であり、利用者数は落ち込んでいません。

令和元年度の料金改定時は、令和元年が17万2656人に対し、令和2年は13万2374人とコロナ禍の影響により落ち込んでいます。今回の料金改定では、利用率が下

がらないよう努めていきます。

(全員賛成 可決)



一般会計補正予算
(第1回関係部分)

問 解体する中央公民館の代替施設について、周知の時期や周知方法、工事期間は決まっているのか。

答 補正予算の議決をいただいた後に、周知方法、工事期間など検討していきます。また、今回の代替施設は図書室、自習室のみであり、会議室等の代替施設が決まった際には、利用者には適宜周知していきます。

(全員賛成 可決)

問 現在、余野地区の役場の隣地でダイオキシン処理済廃棄物埋め立て処理が行われている。歴代の町長が問題解決のため努力されてきたが、ついに大仕事を成し遂げて、一区切りがついたと思うが。

答 四半世紀を超える28年かかりました。多くの人たち歴代の管理者、大阪府、国会議員、地域の方々のお力添えで最終の

ダイオキシン問題は完全解決か



小寺 正人



廃棄物の最終埋め立て処理は

管理施設への搬入が終わったところ。大変重大なご決断をいただいた余野の皆さまに心からの感謝を申し上げます。

問 これで高濃度のダイオキシン廃棄物処理問題は完全に解決したと考えて良いか。

答 全ての工事は8月に終了する予定です。

問 住民はTVで見た程度の感覚である。

終結宣言と豊能郡環境

施設組合の解散はいつ頃行う予定なのか。

答 工事の完成をもってダイオキシン問題が大きい



ダイオキシン廃棄物管理施設

な節目を迎えたことは確かです。

今後については施設の管理、能勢町との協議が進んでいきます。

ダイオキシン濃度は、土壌で1000ピコ以下、汚泥で150ピコ以下、水質で1ピコ以下の基準があり、旧豊能郡美化センター周辺では基準をクリアできない部分が残っているので安全対策委員会で議論しています。

事務を継承していく必要があるのか、組合の解散をすぐに行うことは難しいと考えています。

活気ある暮らしと町づくり



秋元 美智子



こども園の予定地第2駐車場、移転先は

問 西地区のこども園を第2駐車場に建設することになり、町は、9年度から工事に入りたいとしている。

第2駐車場に代わる駐車場を早急に確保する必要がある。その移転先について考えているのか。

答 現在、西地区の公共施設再編にむけて基本計画の策定を進めており、まだ確実ではありませんが、ふれあい広場が最も

合理的ではないかと考えています。

問 いっぽう、決定するのか。第1駐車場が閉鎖されて以来、公共施設の駐車場は不足気味となり、西学園関係者の駐車場は1キロ近く離れている。

公共施設再編にむけて提示された4案ともに、ふれあい広場に複合施設を建設するとしている。この機会に、残りの土地に十分な広さの駐車場を確保する必要があると思うか。

答 再編する公共施設の規模や配置、皆さまの利



こども園の予定地となった第2駐車場

便性など考え、可能な限り早い時期に決定したいと思っています。

嗅覚検査で認知症の早期発見を

問 嗅覚の鈍い人はアルツハイマー症になる可能性が高く、しかも物忘れより先に嗅覚が鈍くなる。ことが専門家の研究から明らかになってきた。

鳥取県北栄町は簡単な検査方法で嗅覚の衰えを自己認識してもらっている。町も取り組めないか。

答 認知症の早期発見は重要課題であり、啓発活動を含めて検討します。

定住促進を支える 交通施策



さいわき 明美



スクールのバス
の安全対策について

問 運転手の健康管理や運転技術、安全確認体制、緊急時対応など、安全対策についてどのように行なっているのか。

答 運転手の体調管理を徹底し、不調時は代替職員が対応。職員による同乗確認や車両点検を実施し、安全運転に努めています。児童・生徒や運転手の体調不良時は学校に報告し、必要に応じて停車・救急要請を行います。



子どもたちの安全を支えるスクールバス

問 部活動の大会や遠征等でスクールバスを利用する際、運転手の拘束時間・休憩時間の確保や悪天候時の運行判断基準は。また新潟県の事故を受けた追加対策はあるのか。

答 安全走行に必要な移動距離や休憩時間を定めた運行マニュアルを策定中で、悪天候時は、気象情報や主催者の判断を参考に運行を判断します。新潟県の事故を踏まえ、運転手の技術確認に加え、一定期間職員が同乗し、安全運転を継続的に確認していきます。

問 東地区の路線バス廃止の実証運行について

問 無料期間を設ける理由や有料化後の料金設定、利用者が伸びない場合の改善策、持続可能な運行に向けた財源確保の考え方を伺う。

答 無料運行は利用促進と周知を目的として実施し、利用状況や住民意見を踏まえ運行方法や料金を検討します。改善策については利用実態や課題を分析し、対応を検討します。国・府補助金や過疎債などの活用も視野に財源確保に取り組みます。

とよの西学園の 登校について



すがの えみこ



集団登校

問 校門までは保護者の責任。しかし学校では登校班を作り、通学路を決めて、集団下校も必要に応じてやっている。防災の観点からもよい取組だと思う。

学校まで2キロもある新光風台地区。最短距離を歩けないのか。

答 通学路については、修正・変更を行っていくことを確認しています。開校準備委員会が示し



見守り体制も充実・安心安全な通学を

た通学路を通ることを推奨するが、一部変更しても構わないとのこと知らせを学校より保護者の皆さまに対して配布しました。今後も子どもたちが安心して登下校できるよう、柔軟に対応していきます。

通学路の整備を

問 狭い光風台の歩道では車道に出ている児童も多く見受けられる。国道の信号の時間が短く、信号のボタンを押し続けている見守りサポーターがいる。

国道の信号の時間を長

くしていただくことや通学路を変更する際には、横断防止柵を新設、住宅地内には、スクールゾーンをペイントするなどの策が必要だ。学校だけでは解決できない問題がたくさんあるが。

答 子どもたちの安全を第一に考え、ガードレール等の必要な箇所については、校区協働本部の安全安心部会などと共に連携し、自治会にも協力をお願いしていきます。

関係各課と連携し、警察や道路管理者に対してお伝えしていきます。

公約実現に向けて



たかの 光一



補聴器購入補助について

問 補聴器購入補助についてのアンケート調査の結果は。

答 本年3月に調査を実施しました。43市町村のうち20市町が実施しています。46・5%の実施率。北摂では島本町のみ実施しています。

問 予算の計上を要望するが、町の考え方は。

答 厳しい財政状況の中で、今すぐ補助事業を実施するということは困難

です。

図書の取り寄せについて

問 現在、中央公民館で行っている西地区の図書館からの図書の取り寄せ

ができなくなると住民の方々が心配しているが。

答 公共施設再編後も取り寄せができるよう、検討していきます。

義務教育学校の給食費無償化について

問 今後も、ぜひとも給食費無償化事業の継続を要望する。

答 令和8年度は、従前からの中学校給食無償化

に加え、国の交付金を活用し、新たに小学校給食も無償化します。

公共交通の充実に

問 路線バスの減便で困っている住民が

困っている住民が知られることを町は承知しているのか。

答 路線の廃止、あるいは減便によって利用者の利便性が低下していることは承知しています。

深刻な運転手不足が原因で黒字の路線でも減便せざるを得ない状況です。



減便となった阪急バス

人口減少に対応したまちづくり



内田 かおり



人口減少と財政状況について

問 豊能町の人口は、ピーク時の約27000人から、現在は約17000人規模まで減少しているが、公共施設の維持管理費や行政サービスに必要な経費は依然として高い。

現在の町税収入は、収入全体に対してどの程度の割合を占めているのか。

答 令和6年度決算において、町税収入は約15億6000万円で歳入全体

の17・5%、地方交付税は約31億1000万円で34・8%を占めており、多くを外部財源に依存しているのが現状です。

地域を支える担い手高齢化と支援について

問 地域のにぎわいのために活動されている団体例えば、「花さんぽ」「とよのわ」「WEマーケット」「トヨノポートAL」等で活動されている方々の高齢化が進んでいる。

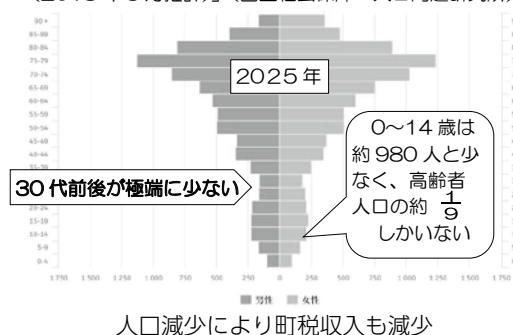
活動ノウハウや人的ネットワークを次世代へ引き継ぐ仕組みづくりや

支援体制について、町はどのように考えているのか。

答 自主的に地域活動を行っている団体へ直接関わることは難しいのではないかと考えています。が、「にぎわい事業補助金」などを通じて地域活動を支援しており、令和7年度につきましては13件、61万8000円の交付実績です。

また、広報誌等に、活動を紹介する記事の掲載などで、支援を行っているのではないかと考えています。

出典：国勢調査を独自集計、「日本の地域別将来推計人口（2018年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）



将来負担比率と町の負担額について



寺脇 なお子



交付税措置を引いた町の負担額について

問 本町の直近の決算における将来負担比率と、350%の早期健全化基準との比較について伺う。

答 将来負担額は、73億6372万円に対し、基金などの充当可能財源は90億4712万円と数字が出ています。

問 本町は、将来負担比率マイナス36・4%です。現在の地方債残高普通会計ベースと、そのうち交付税措置を差し引い

た町の実質的な負担額は、令和8年度地方債残高は、72億963万円です。うち、地方交付税措置が見込まれる額は、51億7933万円と試算しています。交付税措置見込み額を差し引いた町の実質的な負担額は、20億3030万円の見込みとなっています。

問 今後の中期長期における地方債残高と将来負担比率の見通しは。

答 今後、大規模事業に伴う地方債残高の増加に加え、財政調整基金残高の減少傾向が将来負担比

率を押し上げる可能性がある」と認識しています。

オリジナルカレンダー制作について

問 広島県庄原市では、J R芸備線存続に向けて市民が撮影した写真をカレンダーにして、地域の魅力発信をしている。

住民参加型のカレンダー制作は地域活性化に有効だが、どのように考えているのか。

住民参加型のカレンダー制作は地域活性化に有効だが、どのように考えているのか。

答 住民参加型の情報発信の視点は大変重要であると認識しています。

住民参加型の情報発信の視点は大変重要であると認識しています。



住民参加型のカレンダー制作について

マネーリテラシー教育の推進



西 みえ



金融教育の必要性

問 義務教育学校の開校に合わせ、NISA(ニーサ)やキャッシュレス化などの社会情勢に対応するため、9年間で体系的に金融教育を取り入れる必要性について伺う。

答 金融教育や消費者教育は、以前は家庭で学ぶことであり、大人になってから必要になることとみられがちでしたが、近年では状況が大きく変わり、学校教育での指導の

必要性が高まっていると認識しています。

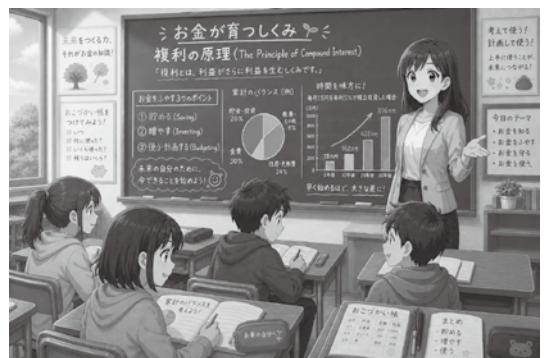
また、キャッシュレス

化やデジタル化への対応、消費者トラブルへの予防、主体的な人生設計、格差拡大への対応、社会参画意識の育成などの点から

も、今後は金融教育を積極的に取り入れていく必要があると認識しています。

社会を生き抜く守りの知識

問 お小遣い帳など身近な話題に加え、将来の資産形成につながる複利・



金融教育の授業イメージ

雪だるま式に増える仕組みや、逆複利・借金やリボ払いの恐ろしさといった、社会を生き抜く守りの知識を学ぶ機会を検討できないか。

答 これからの世の中を生き抜く子どもたちを育む意味でも、旧吉川中学校でのマネーリテラシー教育の実践を参考に、社会科・家庭科・総合的な学習の時間を活用しながら、金融教育や消費者教育に今まで以上に注力していきたいと考えています。

問 町が管理する遊休地や公園の一部を、期間限定の試行（社会実験）としてドッグランに開放できないか伺う。

答 本町では現在、大阪大学等と連携し、将来の公園の在り方を、検証する取組を進めており、その一環として、光風台中央公園グラウンドの一部に、様々な試みができる「実験場」を設置する計画です。

公園等へのドッグラン設置について

町の未来や環境づくり



林 かずとし



公園等へのドッグラン設置

住まいの終活ノートの活用促進について

問 町独自の「終活ノート」を作成するか、実績のある既存のノートを用意し、高齢者福祉や役場の窓口等で配布し、財産としての住まいの未来を

考え「所有意識の啓発」を図るべきではないか伺う。

答 住まいの終活ノートは、不動産の相続、売却だけでなく、医療・介護、葬儀の希望など、多角的な意思表示を行う「エンディングノート」の一環として、その普及や意識

啓発を図ることが有効であると考えています。

とよの西学園教職員用駐車場の確保について

問 とよの西学園の教職員の通勤を軽減する具体的な対策について伺う。

答 教育委員会としては、教職員の駐車場を学校周辺で確保することは、教職員の通勤負担軽減の観点からも必要であると考えています。

現在、西地区の公共施設再編計画を検討中で、まだ不透明な部分がある」と理解しています。

遺贈寄付や遺言代用信託の導入を



中川 あつし



遺贈寄付と遺言代用信託について

問 遺贈寄付には、通常「遺言書」が必要であるが、遺言書作成が手間な場合、金融機関と提携した「遺言代用信託制度」もある。このような制度も導入してはどうか。

答 遺言代用信託の場合、申込金額や信託期間など一定の条件があるため、専門的知識を有する司法書士などの専門家や金融機関との連携が必要となります。そのため、遺贈寄付と同様、今後、研究をしていきます。

問 自分の死後に、使いきれなかった財産を寄付する遺贈寄付が増えている。生駒市では「あなたの意思と資産、生駒に残しませんか」とのタイトルで遺贈寄付制度を実施している。豊能町でも導入してはどうか。

答 全国的に実績の少ない制度であるため、遺贈寄付を実施されている自治体の事例、取組体制について研究していきます。



児童生徒にラーケーション制度を

問 奈良県香芝市などでは、子どもたちが家族で過ごす時間を確保できること、さまざまな経験を

通して心身の成長につなげていくことを目的に、ラーケーション制度を導入している。豊能町でも導入してはどうか。

答 当制度を実施している地域でのアンケート調査では、保護者が仕事を休む負担や、教職員の事務が煩雑になる結果がでており、現在において導入は困難と考えています。

地域のために新しい取組を



池田 忠史



東西それぞれ開校した義務教育学校について

問 義務教育学校が開校して2か月が過ぎた。現在の学校の状況は。

答 おおむね児童生徒は元気に、意欲的に活動に取り組んでいます。

新しい学校で1年生から9年生までが一緒に生活する環境にも順応できているようです。

問 学習の定着と学力アップを図る目的で放課後に公営もしくは公設で塾を運営してはどうか。

答 総合的な学習の時間で調べ学習や発表する機会を増やし、地域の方々と交流を通して学力を育んでいます。また、それにより大きな意味で学力は向上していると考えています。

農業従事者の高齢化や担い手不足について

問 近年は夏場の猛暑で高温障害等による農作物への影響など、農家にとっては今までと環境が変わってきている。

農家の方が簡単に相談や支援を受けられるよう相談員制度を導入しては

どうか。

答 独自の相談員制度を新設しなくても、それぞれの役割に応じたJA等の相談体制が整っています。新制度の立ち上げではなく各機関との連携を強化していきます。

問 各組織の連携は勿論だが、普段から地域の方と交流し、専門的な知識を有した方がいれば相談しやすいと思うが。

答 農林商工課に問い合わせていただければ各専門分野の団体へおつながります。



農業の未来を支える相談員制度

第1回

交通特別委員会

6月8日開会
委員5名出席



公共交通の現状と路線の廃止

豊能町における地域公共交通は、人口減少による利用者数の減少、運転士不足などによる減便や廃線が起きている状況である。この問題は豊能町だけでなく全国的な課題となっている。このまま行政や議会が動かなければ、さらに悪化することとは容易に推測できる。

交通施策の調査と委員会の設置

地域公共交通の確保・維持を目的に、令和8年3月定例会議の最終日において交通特別委員会を設置され、6名の議員が委員に選任された。

本委員会設置の目的である「交通事業者への陳情・要望」「地域公共交通施策の調査・研究」について具体的な協議事項



が未定であるため、今回は各委員から具体案を挙げてもらい、協議事項を決定する予定であった。各委員よりそれぞれの観点から多くの提案はあったが、具体的な内容までは至っておらず、各委員には提案事項をより具体的な内容となるよう再検討を依頼し、委員会は閉会した。

なくすな

地域の移動手段



3月定例会議では、東地区の阪急バス路線廃止による交通空白地に対し、社会実験として定時定路線の実証運行を実施し、今後の在り方を検討するとなりました。

公共交通は、住民の皆さまに日々ご利用いただかなければ維持できません。大切な移動手段を将来に残すためにも、ぜひ皆さまのご利用、ご協力をお願いします。

「議員による避難所開設訓練を行いました」

(本庁大会議室)

6月8日

5月29日から、梅雨入りを前に新しい防災気象情報の運用が始まりました。

災害への備えは、お住まいの場所や住宅の状況によっても異なります。大切なのは、自分の住む地域でどのような災害が発生する可能性があるのかをハザードマップで確認し、それぞれに応じた対策を講じることです。

いつ発生してもおかしくないという危機意識を持ち、日頃から備えておくことが重要です。

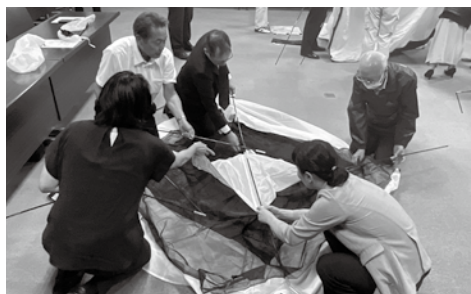
大規模地震などにより避難所が開設された場合は、避難所運営の中心となるのは地域住民の皆さまです。そのため、避難所を利用する地域の自主防災会活動に積極的に参加し、平時から訓練や準備を進めておく必要があります。

備えに「やり過ぎ」はありません。災害時に十分な準備ができていなければ、それだけ命の危険も高まります。実際の災害時には、訓練で経験した以上のことはなかなかできないものです。だからこそ、日頃からの備えと訓練が大切です。

議会としても、避難所

が開設された際に適切な支援や協力ができるように、避難所開設訓練に取り組んでいます。6月8日には、昨年9月の改選後初めてとなる議員向けの避難所開設訓練を実施しました。

避難所の運営には、食料や飲料水などの物資配給、トイレの確保・管理、情報収集・情報発信など、多くの役割があります。今後も年2回程度の訓練を継続し、議員の任期4



年間で7～8回の実施を予定しています。訓練を重ねることで、実際に避難所が開設された際には、地域の皆さまと連携しながら、少しでも円滑な避難所運営に貢献できるような努めてまいります。

宮城県七ヶ宿町議会が

義務教育学校を視察

(とよの西学園)

6月24日

令和8年6月24日、宮城県七ヶ宿町議会8名の議員の皆さまが、とよの西学園に視察にお越しくださいました。

七ヶ宿町は蔵王連峰の南麓に位置する人口約千人の町で、宮城県内で最も人口の少ない自治体です。本町と同様に少子高齢化と人口減少が深刻な課題となる中、子どもたちの教育環境をどう守っていくかについて強い問題意識をお持ちでした。

視察では、学校の施設



や9年間の一貫教育の授業を視察いただきました。その後の意見交換では、統合に至るまでの経緯、保護者・地域住民との話し合いについての質問や、統合後の学校跡地の活用、人口減少が続く中のまちづくりの在り方、地域資源を活かした活性化策についても意見を交わすことができ、大変有意義な時間となりました。同じ課題を抱える本町にとっても、多くの気づきをいただきました。



豊能郡環境施設組合議会 第2回臨時会

4月21日 (火)

<主な議案>

- 令和8年度一般会計補正予算 640万円

廃棄物管理施設に係る水質検査等の費用640万円を追加し、予算総額を1億4391万1千円とする。財源は豊能町478万3千円、能勢町161万7千円の分担金です。質疑では財源措置について確認が行われ、ダイオキシン対策費として特別交付税の対象となる可能性が示されました。(全員賛成 可決)

前号第157号 表紙へのご意見



ご意見・ご感想をお寄せ下さった皆さまありがとうございます。
「見にくい」「安物のチラシのようだ」「ほかに違った表現方法があったのではないか」「もっと表紙の中身を知りたかった」など、私どもにとって耳の痛いお声の中に貴重な提案をいただき、今後にむけて大きな力となりました。
その一部を抜粋して、

下記に報告させていただきます。
また、157号の編集後記で触れましたように、この表紙は、多くの方に議会に関心を持ってほしいと、工夫に工夫を重ねた北海道鷹栖町議会のインパクトある取組を参考に作成しています。
まだまだ力量不足ですが、現在、第2弾の実施を検討中です。

小中学校給食費 無償化
484万5千円

高校生の通学費 補助
ICOCA バス 40,000円
電車 22,000円
【表紙に対するアンケートのお願い】
二次元コードを読み取り
簡単なアンケートにお答えください

地域公共交通計画に基づく取組
いつまでもあると思うな路線バス 乗らないとなくになります

お試しチケット全戸配布
1世帯当たり
阪急バス 250円×2枚
デマンドタクシー 250円×2枚

地域交通確保補助事業
座席路線バス 定時定路線の実証運行 800万円
阪急バス豊能西線 1600万円
通勤バス就職支援 174万円
デマンドタクシー運行 1150万円

コミュニティカーシェアリング導入支援 120万円
運転免許証自主返納者移動支援 46万9千円

●見にくい 6人

- ・安物の通販チラシのようで、とても酷い。
- ・財政が厳しいので、こんなにカラーでなくてよい。今まででよい。
- ・「いつまでもあると思うな路線バス」のところに書いてある、金額がわかりにくい。

●興味を持った 5人

- ・表紙の見出しになっている内容がわかる記述がどこに書いてあるのかわからない。例えば運転免許証自主返納者移動支援に関する内容等。

●面白い 1人

- ・一見してポイントがわかり、中身を知りたくなる。

●その他 5人

- ・「路線バスを維持するために町ぐるみで様々な方策を検討しましょう」といった前向きな発信がなぜできないのでしょうか。また、議員6名の写真を含め、マンガの集中線まで付している意図がわかりません。上記の二点について、今後、総務省の行政苦情110番や本町の行政相談員に意見を述べたいと考えています。
- ・表現が不適切であると思われる点に関しては、次号の発行を待たず、本町の議会基本条例第5条に定められた説明責任を果たされることを強く希望します。
- ・議員の写真は不要。議会だよりとしての品位に欠けると思い。まず記事内容をしっかりしたものにしてほしい。
- ・広告と間違えて処分しそうでした。さらなる工夫に期待します。
- ・初めて、議会だよりをじっくり拝見しました。



議員研修

令和8年度 町村議会

議長・副議長研修会
(東京国際フォーラム)

5月26日

◆地方創生の先行き

一般財団法人地域活性化センター理事長

林崎 理氏

◆人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践

東海大学教養学部教授
万城目正雄氏

◆将来の地方議会を担うのはだれか

京都女子大学学長

竹安 栄子氏

3つのテーマについて研修を受講しました。

地方創生の先行き

東京圏在住の若年層が、高い割合で地方移住に関心がある傾向との説明とともに、国の補正予算で地域未来基金4千億円が地方創生交付金にプラスされていることの紹介がありました。

人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践

技能実習制度から育成就労制度・特定技能制度

将来の地方議会を担うのはだれか

「男女協働参画で地域を元気に」女性の労働力が上がればGDPが40%

アップすることや、女性が管理職であるほど出生率が高く、また、地方議会でも、女性議員が少ないほど無投票になる傾向が高いとのことでした。

女性議員が5割を占める本町でも、状況によっては無投票になっていく可能性があり、議員のなり手を増やす取組も必要と感じました。

新人議員のための

地方自治の基本を学んで

(JIAM)

5月11~13日

3日間の日程で「地方自治の現状」「二元代表制における議会の役割」

など議会とは何か…をはじめ、「財政分析」「地方財政健全化法」など多岐にわたって研修を受講しました。

人口減少・人員不足の中、安全・安心に関わる基礎的サービスをどう守っていくか、難しい時

代に入りました。

全事業の単独維持は難しく、広域連携や先端技術など身の丈に合った選択を迫られています。多様な主体と連携して地域課題を解決する視点を求められており、「借金はないが施設が老朽化している」など、自治体経営に正解はありません。数値にとらわれず将来を見

据え、バランスを考慮した政策的判断が必要です。かつて地方議会では、法制度と実態にずれがあり、議会事務局や議長の権限なども慣例的な運用が多く見られました。

しかし、地方分権の進展に伴い、議会は行政のチェック機関にとどまらず、自ら改革を進める役割が求められるようになりました。その象徴が平成18年に北海道栗山町で制定された全国初の議会基本条例です。

豊能町議会でも平成25年に議会基本条例を施行しており、また、平成30年に通年議会を導入しました。

今後の地方議員に期待される役割として「主権者学習」の重要性を学びました。中高生との協働事業や模擬選挙、政策提言活動など、若い世代が政治に関心を持ち、将来の議員や地域の担い手へと成長する可能性があります。今回の研修を通じて、

議会には多様な人材が参画することが重要であり、若者、子育て世代、高齢者、農業従事者、IT人材など幅広い民意を反映できる体制づくりが必要だと感じました。

今後は「やりたい人」

だけでなく「やれる人」を発掘・育成することも地方議員の大切な役割であると学びました。

〈受講者〉

西 美江
内田 香織
林 和利
高野 光一



住民と一緒に盛り上がった「花さんぽ」



今年もたくさんの関連イベントで盛り上がりました

- ・夏井いつき 句会ライブ (ユーベルホール)
- ・花さんぽ俳句コンテスト
- ・トヨノ花さんぽ美術館 第2回公募展 (ユーベルホールロビー)
- ・まち歩き大応援企画! シールラリー
- ・わんちゃん譲渡会 & mini マルシェ (新光風台自治会館)
- ・昭和広場 (光風台中央公園)
- ・休憩スペース (豊能町地域包括支援センター)
- ・外国語で話そう トーキングテーブル (図書館前)
- ・第1回豊能けん玉道選手権大会 (東ときわ台自治会館)
- ・En-GAWA オープンカフェ等 (祥雲館)
- ・ご近所さんによる「まちナビツアー」など



スマートフォンで手軽に
「議会だより」を読んでも
いただけます



マチイロホームページ

インターネットによるライブ・録画配信



豊能町議会では、本会議・一般質問・常任委員会・議会運営委員会・特別委員会もインターネットによるライブ・録画配信をしています。

令和8年9月 定例会議予定

9月7日(月)	9:30~	定例会議開会
9月8日(火)	9:30~	一般質問
9月9日(水)	9:30~	一般質問

編集後記

長い間、仮置きしていた豊能郡美化センターの廃棄物が、余野地区住民の皆さまのご理解と協力によって廃棄物管理施設に搬入されました。議員一同、心より感謝申し上げます★今回は、この5月に開催した議会報告会と、また、北海道鷹栖町議会の取組を参考に作成した前号表紙について、皆さまから寄せられたお声を掲載させていただきました。★誌面の都合上、その全容をお伝えすることはできませんが、いずれも忌憚のない貴重なお声です。より身近な議会へと取り組んでまいります。(秋元)

広報特別委員会

委員長 菅野英美子
副委員長 秋元美智子
委員 西 美江
内田 香織
林 和利
高野 光一

この議会だよりは再生紙を使用しています。

大阪府豊能町 議会だより

第158号 令和8年7月25日

この広報誌は、議員6名で延べ5日間編集作業を行い、8,700部作成。1部あたりの単価は20.89円、配達に12円かかっています。16